

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	応急処置	
科目基礎情報					
開設学科	医療事務科	コース名		開設期	通年
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	15時間
単位数	1単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	山下 恵子		実務経験の有無・職種	有・看護師、救命救急士	
学習目的					
病気や事故などで心停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に、そばに居合わせた人が速やかに心肺蘇生（そせい）などの応急手当を行う必要がある。いざというときのために、応急手当の知識と技術を身につけることを目的とする。					
到達目標					
応急手当の方法としてAEDの使い方、気道異物除去の方法、倒れている人への対応、出血している人への対応、けがをしている人への対応、熱傷の対応、溺れている人への対応方法を理解する。					
教育方法等					
授業概要	応急手当の方法としてAEDの使い方、気道異物除去の方法、倒れている人への対応、出血している人への対応、けがをしている人への対応、熱傷の対応、溺れている人への対応方法を説明する。				
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス		応急宛てのポイントについて理解できる		
2回	AEDの使い方（1）		AEDについて理解できる		
3回	AEDの使い方（2）		AEDを使用した心肺蘇生について理解できる		
4回	AEDの使い方（3）		AEDを使用した心肺蘇生、実演について理解できる		
5回	気道異物除去方法（1）		気道異物除去方法について理解できる		
6回	気道異物除去方法（2）		気道異物除去方法について理解できる		
7回	倒れている人への対応方法（1）		倒れている人への対応について理解できる		
8回	倒れている人への対応方法（2）		倒れている人への対応について理解できる		
9回	出血している人への対応方法（1）		出血している人への対応について理解できる		
10回	出血している人への対応方法（2）		出血している人への対応について理解できる		
11回	けがをしている人への対応方法（1）		けがをしている人への対応について理解できる		
12回	けがをしている人への対応方法（2）		けがをしている人への対応について理解できる		
13回	熱傷の場合の処理方法（1）		熱傷の場合の処置方法について理解できる		
14回	熱傷の場合の処理方法（2）		熱傷の場合の処置方法について理解できる		
15回	溺れている方への対応方法		溺れている人への対応方法について理解できる		